104-5

問題文

反射波を利用する画像診断法はどれか。1つ選べ。

- 1. X線CT
- 2. MRI
- 3. 超音波診断法
- 4. 陽電子放射断層撮影法(PET)
- 5. 单一光子放射断層撮影法(SPECT)

解答

3

解説

選択肢 1 ですが

CT は **Computed Tomography** (コンピュータ断層撮影法) の略です。 「**X 線**」を用いて、輪切り画像を撮影します。「反射波」ではありません。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが

MRI は magnetic resonance imaging (磁気共鳴映像法)の略です。「特定の周波数のラジオ波」を照射することにより、核スピンの向きをいったん強制的に揃えた後、照射を止めた時に定常状態に戻るまでの過程(緩和現象)を測定することにより画像化するというものです。「反射波」ではありません。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 は妥当な記述です。

超音波診断法は、エコー検査とも呼ばれます。エコー=反射波 のことです。

選択肢 4 ですが

PET は positron emission tomography (ポジトロン断層法)の略です。放射能を含む薬剤を用いる、核医学検査の一種です。放射性薬剤を体内に投与し、特殊なカメラでとらえて画像化します。「反射波」ではありません。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 ですが

SPECT は Single Photon Emission Computed Tomography (単一光子放射 断層撮影)の略です。体内に投与した放射性同位体から放出される 「ガンマ線を検出」し、その分布を断層画像にします。「反射波」ではありません。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は3です。